

令和3年度 千葉県障害者スポーツ大会バレーボール競技（精神障害者の部） 競技実施要領

1. 競技規則

全国障害者スポーツ大会競技規則令和3年度版（（公財）日本障がい者スポーツ協会制定）に定める以外は、同年度の（公財）日本バレーボール協会競技規則（国際競技規則）及びこの要領に定めるところによるもののほか、参加団体代表者会議確認事項による。

2. チームの構成

- (1) 監督1名・コーチ1名・マネージャー1名及び選手12名以内とする。
- (2) 監督・コーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督・コーチを含めて12名以内とする。
- (3) 男女混合でチームを構成する。試合中は少なくとも1名以上の女性プレイヤーが出場していなければならない。女性選手が出場不可能になった場合には、その時点でゲーム終了とし、不戦敗とする。
- (4) 複数施設からの合同チームの参加も可能とする。

3. 競技方法

- (1) 試合は、ワンボールシステムで行う。
- (2) 試合球は、日本ソフトバレーボール連盟公認球ソフトバレーボール球・糸巻きタイプ（モルテン製 円周78±1cm 重量210±10g）を使用する。
- (3) ネットの高さは2m24cmとする。
- (4) 全試合トーナメント方式とする。原則として3位決定戦を実施するが、参加チーム数が多い場合は実施しない。また、出場チームが少ない場合はリーグ戦方式で行うことができる。

4. ルール

試合は、以下のとおり進行する。

ただし、(1)～(5)については、大会応募状況等に基づき参加団体代表者会議において変更する場合がある。

- (1) 試合は3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。
- (2) 決勝戦以外は1セット15点のラリーポイント制とする。
また、得点が「14対14」の同点となった場合、16点先取したチームがそのセットの勝者とする。なお、第3セットのコート交代は、8点先取した時に行う。
- (3) 決勝戦は21点のラリーポイント制とする。
また、得点が「20対20」の同点となった場合は、22点先取したチームがそのセットの勝者とする。なお、第3セットのコート交代は11点先取時に行う。
- (4) それぞれのチームには、1セットにつき1回のタイムアウト（1回30秒）が認められる。（決勝戦については2回）
- (5) 試合は、追い込み方式で進行する（進行担当の放送指示に従うこと）。
ただし、連続出場の場合は、試合終了15分後をプロトコールとする。連続出場でない場合は、試合終了5分後をプロトコールとする。
進行状況によっては、コートを変更する場合がある。

5. 服装

(1) 選手

- ① 胸部と背部の中央にナンバーが入っているユニフォームを着用すること。
- ② チームキャプテンは、胸のナンバーの下にマーク（横線8cm×2cm）を付けること。
- ③ リベロは、チームの他の競技者と区別できる色のユニフォームを着用しなければならない。

(2) 監督・コーチ・マネージャー

それぞれ左胸にワッペンを付けなければならない。

6. 組み合わせ

参加団体代表者会議において参加団体による抽選の上で決定する。

7. 登録確認・選手変更

- (1) 参加団体は、大会当日、来場時に速やかに「コンポジションメンバー表」を受付に提出しなければならない。
- (2) 選手変更は、原則として参加団体代表者会議以降は認めない。ただし、やむを得ない事情により変更が必要となる場合は、来場時に速やかに「登録変更届」を受付に提出し、監督会議での承認をもって変更を決定する。

8. 招集・競技に係る提出書類

- (1) 各チームは、試合開始時刻の15分前に所定の場所で待機すること。
- (2) 競技にあたり次の書類を作成し提出すること。
 - ①コンポジションシート
プロトコール時に副審に提出すること。
 - ②ラインアップシート
各セットが始まる前に副審に提出すること。

9. 開始式・表彰式・監督会議

- (1) 開始式は、行わない。
- (2) 表彰は、式典として実施せず、順位発表のみを館内放送で行う。
- (3) 監督会議は、大会当日に大会本部前で行う。開始時間は別途連絡する。
また、監督会議において申し合わせ事項を設けることができる。

10. 競技場内への入場制限

- (1) 競技場内（各アリーナ）への入場については、選手、監督、コーチ、マネージャー等、主催者に事前登録を申請し、許可された者以外は入場することができない。
- (2) 応援席（メインアリーナスタンド及びサブアリーナ応援席）以外へのカメラ等撮影機材の持ち込みと撮影は禁止する。

11. その他

- (1) 大会当日の練習は、定められた場所で安全に留意し、大会役員の指示に従って行うこと。
- (2) 練習球は、各チームで用意すること。
- (3) 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じ、可能な限り少人数で大会を運営するため、各チームから線審、得点係、モッパーを大会運営スタッフとして出すこと。

参 考

【競技規則購入先】

「全国障害者スポーツ大会競技規則令和3年度版」

(公財) 日本障がい者スポーツ協会

https://www.jsad.or.jp/promotion/promotion_zenspo_rules.html

「(公財) 日本バレーボール協会競技規則 (6人制)」

(公財) 日本バレーボール協会

<https://www.jva.or.jp/play/rulebook.html>